

令和7年度 通常総会等の概況

○ 理事会



(理事会)

全国市区選挙管理委員会連合会の理事会は、5月22日（木）午前10時30分、全国から93理事市区、189名が出席して、東京・文京シビックホール小ホールで開催された。

司会を東京支部・江東区選挙管理委員会 藤田 和哉事務局長が務め、副会長の戸田市選挙管理委員会 萩原 平壽委員長の開会の言葉で始まった。まず本連合会の 金子武文会長の挨拶のあと、議長に東京支部・荒川区選挙管理委員会の 志村 博司委員長が選任され、次の議事について審議し、いずれも了承された。

- (1) 令和6年度各会計歳入歳出決算の認定について
- (2) 令和7年度事業計画及び各会計歳入歳出予算の承認について
- (3) 総会の運営について
 - ア 会議次第について
 - イ 表彰状受領代表者及び外部表彰受賞者について
 - ウ 経過報告について
 - ・ 令和6年度経過報告
 - ・ 令和6年度に提案された公職選挙法等改正要望事項の取扱いについて
 - ・ 令和6年度公職選挙法等改正要望事項の提出について
 - エ 令和7年度通常総会に提案された公職選挙法等改正要望事項について
 - オ 役員の選任について

(4) 令和7年度及び令和8年度理事会・研修会の開催について

- ・ 7年度は10月30日（木）に兵庫県姫路市で開催予定
- ・ 8年度は徳島県徳島市で開催予定

(5) その他

- ・ 令和8年度通常総会は6月4日（木）に開催予定
理事会は、11時30分、副会長の清瀬市選挙管理委員会 大熊 貞蔵委員長の閉会の言葉で終了した。

○ 通常総会



(通常総会 第1部)

令和7年度通常総会は、5月22日（木）午後1時、全国から297市区、698名が出席して、東京・文京シビックホール 大ホールで開催された。

総合司会を午前中の理事会に続き、東京支部・江東区選挙管理委員会 藤田 和哉事務局長が務め、副会長の高松市選挙管理委員会 井上 悟委員長の開会の言葉のあと、本連合会 金子 武文会長が挨拶を行った。

これに続き、令和7年度選挙事務功労者341名（特別表彰 35名、一般表彰委員 210名、一般表彰職員 96名）の表彰を行った。表彰代表者として特別表彰は埼玉県朝霞市選挙管理委員会 細田 昭司委員長、一般表彰代表者として委員の部が、岡山県新見市選挙管理委員会 小村 幸男委員長（代理受領 倉敷市選挙管理委員会 大熊 裕司委員長）、職員の部が福島県郡山市選挙管理委員会 菅野 雅之事務局次長がそれぞれ表彰を受けた。

昨年、本連合会の表彰規程が改正となり、本連合会の会員市区以外にも、全国の投票事務、開票事務などの事務改善及び合理化の推進に多大な貢献をした方も表彰の対象となった。令和7年度は、特定非営利活動法人選挙管理システム研究会理事長の 坂根

健氏と、株式会社日本選挙センター取締役会長の 中村 公英氏の2名が受賞し、表彰を受けた。

また表彰終了後、次の来賓の方々が祝辞を行った。

公益財団法人 明るい選挙推進協会 理事長 門山 泰明

総務審議官 原 邦彰

衆議院政治改革に関する特別委員会委員長 渡辺 周
(祝辞メッセージ)

参議院政治改革に関する特別委員会委員長 豊田 俊郎
(祝電メッセージ)

来賓祝辞のあと、次の来賓の方々を紹介し、一旦休憩となった。

衆議院第二特別調査室	森 源二
総務省選挙部長	笠置 隆範
総務省選挙部選挙課長	長谷川 孝
総務省選挙部管理課長	熊谷 章

その後、午後2時から再開となり、議長団に次の方々が選任され経過報告の承認後、議案の審議に移った。

○ 議長団

- | | |
|---------------|-----------|
| ・荒川区選挙管理委員会 | 志村 博司 委員長 |
| ・あきる野市選挙管理委員会 | 田嶋 光男 委員長 |
| ・柏市選挙管理委員会 | 久保 雅孝 委員長 |
| ・徳島市選挙管理委員会 | 藤野 稔寛 委員長 |

○ 経過報告

金子会長及び三浦事務局長が、次の内容について一括して報告した。

- (1) 令和6年度経過報告
- (2) 令和6年度に提案された公職選挙法等改正要望事項の取扱いについて
- (3) 令和6年度公職選挙法等改正要望事項の提出について

【経過報告の要旨】

- ① 昨年、執行された各選挙において、従来想定されていなかったさまざまな選挙運

動が行われた。4月の衆議院補欠選挙においては、候補者が自分の所属する政治団体の代表者らとともに、他の陣営の街頭演説を妨害したり、また、選挙運動用自動車を追い回すなどにより、3人が公選法違反で逮捕される事件があった。

7月の東京都知事選挙においては、特定の政治団体の関係者が24人立候補し、同団体への寄附と引き換えに、候補者に割り当てられたポスター掲示場の枠を一般の人に譲ったことにより、選挙と関係のないポスターが多数掲示された。

また、11月の兵庫県知事選挙においては、前述の政治団体の党首が、自らの当選を目指さず、他の候補者の当選を目的に立候補する、いわゆる「2馬力選挙運動」が行われたほか、SNSで虚偽の情報が拡散されるなど、選挙の公正な執行を脅かすおそれがあり憂慮すべき状況となっている。

② 令和6年度の法改正要望事項は17件あり、これらについては、特別委員会事務会議において書面により調査・検討を行ってきた。昨年10月27日に衆議院の解散総選挙があった関係で、11月に予定されていた理事会が中止となったことから、常任理事会において書面決議による承認を得た上で、令和6年度法改正等要望事項として決定された。その後、12月26日、衆参の特別委員会委員長、総務省選挙部、衆議院第二特別調査室及び参議院総務委員会調査室に内容を説明の上、要望書を提出した。

③ 本年4月、ポスターの氏名を選挙人に見やすいように掲示しなければならない規定などを新たに加えた「ポスターの品位保持」などに関する法改正のほか、毎年、当連合会で法改正要望をしてきた選挙運動用自動車の車種制限の簡素化や、選挙運動用ポスターの規格を統一した「規格の簡素化」などの法改正がなされた。

④ 昨年、9月に自民党の総裁選で石破氏が選出され、首相指名を受けた直後に衆議院が解散され、10月27日総選挙が執行された。新首相就任から8日目の解散、26日後の投開票は戦後最短の日程となり、全国の選管では、投票所入場券の作成、ポスター掲示場の設置など、極めて短い期間での準備事務となった。

この総選挙においては、令和4年の区割り改定後初めての総選挙となり、また、在外投票等においても国民審査が可能となるなど、有権者に混乱を招かないよう、区割り変更や国民投票の新たな方法についても、周知する必要が生じた。

この総選挙における投票率は、53.85%と過去3番目に低い結果となり、今後利便性の高い施設への期日前投票所の設置のほか移動支援など、投票環境の向上に取り組んでいく必要がある。また、若年層には教育機関と連携した主権者教育をさらに積極的に実施していく必要がある。

続いて、三浦事務局長が令和6年度に提案された、公職選挙法等改正要望事項16件について、各項目別にその検討結果を説明した。

その後議事に入り議案を審議した。議案の検討概要は次のとおりである。

1 令和7年度通常総会に提案された公職選挙法等改正要望事項について

令和7年度通常総会に提案された新規公職選挙法等改正要望事項 10 件については、提案理由の趣旨説明を受けるにとどめ審議は行わず、特別委員会による調査、検討に付すこととなった。

また、これらの要望事項は特別委員会で議論し、理事会での決定を受けた上で、本年中に要望書を関係機関に提出し、令和8年の通常総会にその結果を報告することに決定した。

2 役員の選任について

令和7・8年度の役員の選任については、前日の常任理事会及び当日の理事会において、役員候補者と決定を受けた方々について議長が付議した結果、次のとおり新役員と決定された。

○ 会 長

- ・ 金子 武文
(関東支部 船橋市選挙管理委員会委員長)

○ 副会長

- ・ 内海 和幸
(東北支部 東松島市選挙管理委員会委員長)
- ・ 矢古宇 克
(関東支部 宇都宮市選挙管理委員会委員長)
- ・ 池田 祥子
(東京支部 小金井市選挙管理委員会委員長)
- ・ 渡邊 伸子
(北信越支部 富山市選挙管理委員会委員長)
- ・ 狗巻 文男
(近畿支部 有田市選挙管理委員会委員長)
- ・ 高浪 智之
(九州支部 八代市選挙管理委員会委員長)

○ 監 事

- ・ 白井 暢明
(北海道支部 旭川市選挙管理委員会委員長)
- ・ 川上 実
(東海支部 高山市選挙管理委員会委員長)
- ・ 真庭 宗雄
(中国支部 山口市選挙管理委員会委員長)

- ・ 稲田 良吉
（四国支部 高知市選挙管理委員会委員長）

3 令和6年度各会計歳入歳出決算の認定について
原案のとおり認定された。

4 令和7年度事業計画及び各会計歳入歳出予算の承認について
原案のとおり承認された。

最後に、副会長の倉敷市選挙管理委員会 大熊 裕司委員長の閉会の言葉で、午後3時30分すべての日程を終了した。

○ 選挙事務研究会



（選挙事務研究会）

選挙事務研究会は、5月31日（金）午前10時から中央区銀座ブロッサムホールにおいて開催した。参加者数は272市区、573名。

この選挙事務研究会では、昨年引き続き、東京支部・新宿区選挙管理委員会事務局 高畑 範章 次長が司会を務めた。

最初に、金子 武文会長が開会の挨拶を行った後、総務省等から講師を招き、次の各演題により講演を行った。今回は、当初、長谷川選挙課長、熊谷管理課長及び安藤課長補佐の3名が講師を務める予定であったが、国会の関係から次のとおり変更となった。

(講演順)

- | | | |
|--------------------------|-------------|-------|
| ・選挙をめぐる最近の情勢について | 選挙課課長補佐 | 福井 淳子 |
| ・選挙の管理執行と啓発をめぐる課題 | 管理課選挙管理官 | 梶原 清 |
| ・選挙の管理執行上問題となった事例等について | 管理課選挙管理第一係長 | 船岡 悠太 |
| ・SNS と選挙：突きつけられた“混乱”への対処 | 麗澤大学教授 | 川上 和久 |

すべての講演が終わった午後 2 時 50 分、東海支部長・東海市選挙管理委員会 稗田とし恵 委員長が閉会の挨拶を行って終了した。